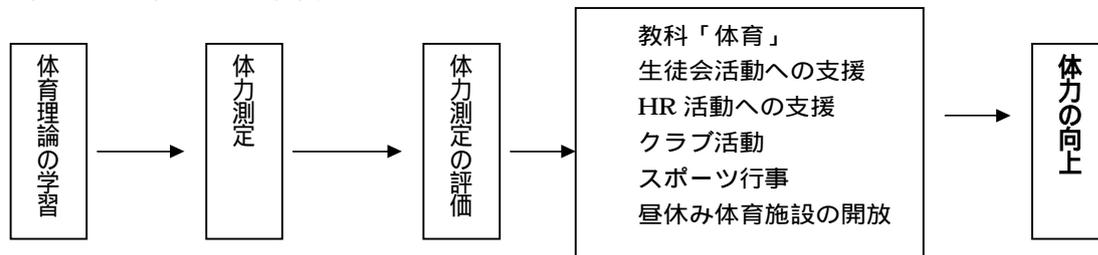


「体力向上プラン2007」

学 校 名 屋代高校
校 長 名 堀金 達郎
記載責任者 山田 秀樹

1. 「体力向上プラン2006」の概要と評価

昨年までの取り組みの概要



評価

本校で例年、実施しているスポーツテストの結果では、殆どどの検査項目で全国、県平均を上回っている。ただ、ここ数年の傾向として3年生の持久力(男子1,500m、女子1,000m)が経年比較ではやや下降傾向にあり、今後の課題となっている。

2. 今年度の取り組み

(1) 具体目標

全学年とも新体力テストの総合評価得点を5%向上させる。

3年生の持久力は前年度より3%以上向上させる。

(2) 内容と方法

体力づくりの場

- ・教科「体育」 十分な授業時間を確保し、生徒一人一人が楽しみながら意欲的に取り組むことのできる授業を行う。
- ・生徒会活動 クラスマッチを単発のスポーツイベントと考えず、生徒のスポーツの習慣化に役立たせる。
- ・LHR活動 クラスマッチにリンクさせホームルームでスポーツを取り入れ、クラスの親睦とともに運動量を確保する。
- ・クラブ活動 女子のクラブ活動の充実を図るとともに生徒会、担任がクラブ活動への積極的な参加を促す。

具体的計画

- ・教科「体育」 4月から3月まで十分な授業時間を確保し、生徒が意欲的に取り組むなかで十分な運動量を保障し、あわせて体力の向上を図る。
- ・生徒会活動 生徒はクラスマッチに対し非常にモチベーションが高く、学校、あるいは校外にまで練習場所を求める傾向にある。そこで、クラスマッチの1ヶ月前から始業前と昼休み時間に体育施設を全面的に開放するとともに用具の貸し出しを行う。
- ・LHR活動 学年合同ホームルームを各学年、2回実施し、クラスマッチのミニ版として行う。また、すべての体育施設とスポーツ用具をLHRに貸し出し、約200時間を計画する。
- ・クラブ活動 通年において積極的な活動を行えるよう、指導者、生徒の連携を図る。

3. 評価方法

スポーツテストを集計、分析し評価する。

クラスマッチに向けての練習計画(生徒会)とその実践を評価する。

LHR計画(各学年会)とその実践を評価する。

クラブ活動の反省(生徒会)を参考に評価する。